

授業概要

次に掲げる事項について、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイング）を行い、事例検討をすることで、公認心理師の業務に必要な心理支援の基本的な知識および技能を習得できるよう指導する。

- ・心理に関する支援を要する者等とのコミュニケーション、心理検査および心理面接の実施、地域支援の実施
- ・心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成
- ・心理に関する支援を要する者等の現実生活を視野に入れたチームアプローチ
- ・多職種連携及び地域連携
- ・公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解

授業計画

第 1 回	オリエンテーション（公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解）
第 2 回	心理支援におけるコミュニケーション1：非言語的要素の重要性
第 3 回	心理支援におけるコミュニケーション2：傾聴技法（感情反映、明確化）
第 4 回	心理支援におけるコミュニケーション3：傾聴技法（言い換え、要約）
第 5 回	心理支援におけるコミュニケーション4：活動技法（探索、矛盾提示など）
第 6 回	心理支援契約に関するコミュニケーション
第 7 回	心理面接のロールプレイング1：インテーク面接とケースフォーミュレーション
第 8 回	心理面接のロールプレイング2：個人面接
第 9 回	事例検討1：要支援者の理解とニーズの把握、支援計画の作成（学校でのコンサルテーション）
第 10 回	心理面接のロールプレイング3：事例検討1を想定したコンサルテーション
第 11 回	心理面接のロールプレイング4：事例検討1を想定した合同面接
第 12 回	事例検討2：要支援者の理解とニーズの把握、支援計画の作成（医療機関における心理支援）
第 13 回	心理検査のロールプレイング：事例検討2を想定した検査
第 14 回	事例検討3：多職種連携・地域連携を想定した支援計画の作成（子育て支援）
第 15 回	まとめ：学習経過の自己評価と弱点改善のための補充学習

到達目標

- ・心理支援におけるコミュニケーションおよび心理面接の基本的な技法について説明、実践ができる
- ・心理検査におけるラポール形成や有意義なフィードバックのために必要な要素を説明できる
- ・事例に応じた支援を行うために必要な情報や資源、多職種との連携について検討することができる
- ・公認心理師としての職業倫理及び法的義務を理解し、それに基づく基本的な判断ができる

履修上の注意

- ・本科目は公認心理師国家試験受験資格取得のために必要な科目である。
- ・本演習については受講制限を行う。受講の条件は別に定める。
- ・心理演習はロールプレイングや事例検討を通じて心理支援の実践を身につける。そのため、積極的に演習に参加し、体験学習を深めることが求められる。
- ・全員が安心して演習に参加できる雰囲気を受講者全員で作るよう心掛けること。

予習・復習

【予習】テキストの該当箇所を読んでおく。テキストに該当箇所がないものについては、適宜予習内容を指示する。

【復習】ロールプレイングやディスカッションの内容を振り返る事後課題を実施する。

評価方法

事後課題の内容（55%）、ロールプレイやディスカッションへの参加の積極性・主体性（45%）

テキスト

- ・教科書名：大谷彰
 - ・著者名：カウンセリングテクニック入門
 - ・出版社名：二瓶社
 - ・出版年（ISBN）：2004年（978-4861080111）
- その他適宜参考書の紹介、資料の配布を行う。